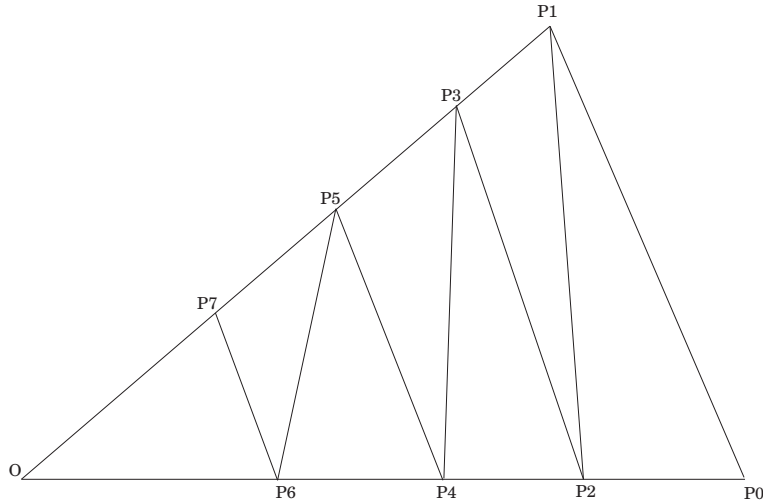


問題

1. $\triangle OP_0P_1$ が与えられている .
 辺 P_0O 上に点 $P_2, P_4, \dots, P_{2n}, \dots$ を , また辺 P_1O 上に点 $P_3, P_5, \dots, P_{2n+1}, \dots$ を適当にとつて , 次の三条件 (イ) ~ (ハ) がみたされるようにしうるための , $\triangle OP_0P_1$ についての条件を求めよ .
 (イ) $P_0, P_2, P_4, \dots, P_{2n}, \dots$ はこの順に線分 P_0O 上にならび , しかも n が大きくなるに従って , O に近づく .
 (ロ) $P_1, P_3, P_5, \dots, P_{2n+1}, \dots$ はこの順に線分 P_1O 上にならんでいる .
 (ハ) $\triangle P_{n-1}P_nP_{n+1} \sim \triangle P_nP_{n+1}P_{n+2}$ が , n のどの自然数値に対しても成立する .
 (ここでいう相似は , 左辺の三角形の P_{n-1}, P_n, P_{n+1} が右辺の三角形の P_n, P_{n+1}, P_{n+2} に順次対応した相似を意味する .)
2. 上のように点がとれたとき , $\triangle P_{n-1}P_nP_{n+1}$ の面積を第 n 項 ($n = 1, 2, \dots$) とする数列は
 (イ) いつでも等比数列である
 (ロ) 等比数列になる場合もあり , 等比数列にならない場合もある
 (ハ) けっして等比数列にならない
 のどれが正しいか , 理由を付して答えよ .

解答

P_1, P_3, P_5 はこの順に線分 P_1O 上に並んでいるが n が大きくなるにしたがって O に近付くとは決まっていない。
 しかし、 n が大きくなるにしたがって、 O に近付かないとすると、可能性は P_3 以降が、 P_1 からみて、 O と反対側に並ぶか、 P_1, P_3, \dots がすべて、 P_1 に一致するかある $k < n$ において、 O を越えてすすむかのいずれかであるが、 O と反対側に並ぶ場合、と $k < n$ において、 O を越えてしまう場合は、線分 P_1O 上であるという指定に反するので、すべて一致するしかない。
 しかしその場合、 $\angle P_{2n}P_{2n+1}P_{2n+1}$ がすべて 0 となってしまう、相似であることから $\angle P_{2n+1}P_{2n+2}P_{2n+3}$ もすべて 0 となり、 P_2, P_4, \dots がすべて、 P_0 に一致してしまう。
 しかし、これは条件 (イ) の大きくなるにしたがって O に近付くということに反するため、 $P_1, P_3, P_5, \dots, P_{2n+1}, \dots$ はこの順に線分 P_1O 上にならび , しかも n が大きくなるに従って , O に近づく . したがって、下の図のようになる。



$n = 1$ のとき、

$\triangle P_{n-1}P_nP_{n+1}$ $\triangle P_nP_{n+1}P_{n+2}$ より

$\triangle P_0P_1P_2$ $\triangle P_1P_2P_3$

これが成立するためには

$\angle P_0P_1P_2 = \angle P_1P_2P_3$

$\angle P_0P_2P_1 = \angle P_1P_3P_2$

$\angle P_1P_0P_2 = \angle P_2P_1P_3$

が成立すればよいが、三角形の内角の和は一定なので、このうち二つが成立すれば必要十分。

相似なので

$\angle P_0P_1P_2 + \angle P_1P_0P_2 = \angle P_0P_1P_3$

P_0 と P_2 は一致しないので、 $\angle P_0P_1P_2 > 0$

$\angle P_1P_0P_2 < \angle P_0P_1P_3$

$\angle P_1P_0P_2 = \angle P_1P_0O$

$\angle P_0P_1P_3 = \angle P_0P_1O$

より、 $\triangle OP_0P_1$ について $\angle P_0 < \angle P_1$ が必要。

また、このとき、

$\angle P_2P_0P_1$ $\triangle P_3P_1P_2$

$\angle P_0OP_1$ $\triangle P_1OP_2$

より $\triangle OP_0P_1$ $\triangle OP_1P_2$

したがって、 $\triangle OP_0P_1$ の面積を S_0 とすると

$S_0 : S_1 = P_0P_1 : P_1P_2$

$\triangle P_0P_1P_2$ $\triangle P_1P_2P_3$ なので

$P_0P_1 : P_1P_2 = P_1P_2 : P_2P_3$

また一般の k についても

$S_k : S_{k+1} = P_kP_{k+1} : P_{k+1}P_{k+2}$

であり、このとき $\triangle P_kP_{k+1}P_{k+2}$ と $\triangle P_{k+1}P_{k+2}P_{k+3}$ は相似なので

$P_kP_{k+1} : P_{k+1}P_{k+2} = P_{k+1}P_{k+2} : P_{k+2}P_{k+3}$

数学的帰納法より任意の k について、 $S_k : S_{k+1} = S_0 : S_1$

また、 $\frac{S_1}{S_0} = \frac{OP_1}{OP_0}$

よって、 S_n は初項 S_0 、公比 $\frac{OP_1}{OP_0}$ の等比数列
ここで公比を r とおく

$$\triangle P_0 P_1 P_2 = S_0 - S_1$$

一般に

$$\triangle P_k P_{k+1} P_{k+2} = S_k - S_{k+1}$$

よって、

$$\frac{\triangle P_k P_{k+1} P_{k+2} : \triangle P_{k+1} P_{k+2} P_{k+3}}{\triangle P_{k+1} P_{k+2} P_{k+3}} = \frac{S_k - S_{k+1} : S_{k+1} - S_{k+2}}{S_{k+1} - S_{k+2}}$$

$$\frac{\triangle P_k P_{k+1} P_{k+2}}{\triangle P_{k+1} P_{k+2} P_{k+3}} = \frac{S_k - S_{k+1}}{S_{k+1} - S_{k+2}}$$

$S_k = r^k S_0$ より

$$\begin{aligned} \frac{S_{k+1} - S_{k+2}}{S_k - S_{k+1}} &= \frac{r^{k+1} S_0 - r^{k+2} S_0}{r^k S_0 - r^{k+1} S_0} \\ &= \frac{r^{k+1} S_0 (1 - r)}{r^k S_0 (1 - r)} \\ &= r \end{aligned}$$

よって、 $\frac{\triangle P_{k+1} P_{k+2} P_{k+3}}{\triangle P_k P_{k+1} P_{k+2}} = r$

よって、任意の $k, k + 1$ に該当する三角形の面積の比は一定
したがって、三角形の面積は等比数列となる。